

令和3年度

シラバス

青翔開智高等学校

第3学年

もくじ

現代文B	3
古典B	4
国語演習	5～6
世界史演習	7～8
日本史演習	9～10
地理研究	11
現代社会研究	12
数学Ⅲ	13
数学演習	14
物理・物理演習	15～16
化学基礎研究	17
化学演習	18
生物基礎研究	19
生物・生物演習	20～21
体育・保健（男子・女子）	22～23
英語演習	24
探究基礎Ⅵ	25

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
国語	現代文B	2	高校3年	必修

科目の目標	評論、小説の読解によって読解の技術および読解に必要な知識を身につけること。 それによって世界を認識する視点を獲得すること。				
学習内容の概要	評論の読解ではその技術だけでなく重要テーマについての知識も同時に身につける。 小説の読解では文学研究の手法で本文理解だけにとどまらない鑑賞方法を学習する。				
評価の観点	関心・意欲・態度 各言語活動に積極的に参加しているか。	話す・聞く能力 目的や場に応じて的確に関き取り、自分の意見をまとめ深めることができるか。	書く能力 必要な情報を用い目的に応じた文章を書き、自分の考えを深めることができるか。	読む能力 近代以降の文章を的確に読み取り、目的に応じて幅広く読み取ることができるか。	知識・理解 読解に必要な知識を習得することができるか。
評価の方法	小テスト・提出物等			40%	単元テスト 60%
教科書、教材	精選 現代文B 新訂版(大修館書店)、精選 現代文B [新訂版] 学習課題ノート(大修館書店)、読解現代文必携 キーワードの卵(尚文出版)、共通テスト 現代文完答20(尚文出版)				
授業形態	一斉				

年間学習計画						
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1学期	4	ガイダンス		1		
		志望理由書	志望理由書の基本的な書き方を学ぶ	7		
	5	「こころは見える？」	哲学的な文章に触れ、世界や人間についての思索を深める	7		
	6	「檸檬」	描かれた人物、情景、心情を表現に即して読み取る	8		
	7					
2学期	8					
	9					
	10	問題演習	マーク問題の読解方法を学ぶ	37		
	11					
	12					
3学期	1					
	2					
	3					

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
国語	古典B	2	高校3年	必修

科目の目標	古文と漢文を読解する技術および必要な知識を身につける。 ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や関心を深める。				
学習内容の概要	古文は、講義・演習・小テストによって、基本的な知識の定着を図る。同時に、難解な演習問題に取り組むことによって知識のアウトプットをはかるとともに、文学史も学習する。漢文は、講義・演習・小テストによって、入試問題の読解に向けた知識の定着を図り、完成させる。				
評価の観点	関心・意欲・態度 各言語活動に積極的に参加し、伝統や文化への関心を深めようとしているか。	話す・聞く能力 目的や場に応じた確的に関き取り、自分の意見をまとめ深めることができるか。	書く能力 相手や目的に応じた適切な文章を書くことができるか。	読む能力 思想や感情を的確に読み取り、その価値を考察できているか。	知識・理解 読解に必要な知識を習得することができているか。
評価の方法	探究スキルラーニング・小テスト・提出物等			40%	単元テスト 60%
教科書・教材等	精選 古典B 改訂版(大修館書店)、精選 古典B[改訂版]学習課題ノート(大修館書店)、体系古典文法(教研出版)、体系古典文法ワーク(教研出版)、完全征服合格古文単語380(桐原書店)、新明読漢文(尚文出版)、新明読漢文ノート(尚文出版)、ビジュアルカラー国語便覧(大修館書店)、SPEDD攻略10日間 古典文法基礎編(2巻)				
授業形態	習熟度別				

年間学習計画						
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1学期	4	ガイダンス		1		
	5	諸子百家	諸子百家の思想・背景について学ぶ。 中国と日本の文化的関連性について学ぶ。	9		
	6	「源氏物語」	敬語と読解の復習をする。 文学史の理解を深める。	9		
	7	問題演習	マーク問題の読解方法を学ぶ	25		
	8					
9						
2学期	10	問題演習 (教養講座)	単語・文法の知識を活用した読解の練習をする。 (古典文学を原典に即して読み味わう)※選択可	14		
	11					
	12					
3学期	1					
	2					
	3					

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
国語	国語演習	2	人間探究コース3年	必修

科目の目標	評論、小説の読解によって読解の技術および読解に必要な知識を身につける。				
学習内容の概要	評論の読解ではその技術だけでなく重要テーマについての知識も同時に身につける。 小説の読解では文学研究の手法で本文理解だけにとどまらない鑑賞方法を学習する。 古典の演習では知識の習得だけでなく複数の資料やその関係性など教養も身につける。				
評価の観点	関心・意欲・態度 各言語活動に積極的に参加しているか。	話す・聞く能力 目的や場に応じた的確に関き取り、自分の意見をまとめ深めることができるか。	書く能力 必要な情報を用い目的に応じた文章を書き、自分の考えを深めることができるか。	読む能力 近代以降の文章を的確に読み取り、目的に応じて幅広く読み取ることができるか。	知識・理解・技能 読解に必要な知識を習得することができているか。
評価の方法	単元テスト・提出物・授業態度を総合的に判断して評価する。				
教科書・教材等	特になし				
授業形態	一斉				

年間学習計画						
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1学期	4	ガイダンス		1		
				4		
	5	評論のテーマに対する知識・概念の習得	演習問題を通して、評論の主要テーマに関わる知識や概念、社会背景を調べまとめる	6		
	6	志望理由書作成	大学のアドミッションポリシーを調べた上で、求められている資質と自分の資質との比較を通して志望理由書を作成する	8		
	7			4		
2学期	8	小論文・演習対策	小論文対策として時間内に1題書き上げ、翌時間で書き直しをする 共通テスト対策として毎時間1問ずつ対策する	4		
	9			6		
	10			8		
	11			8		
	12			6		
3学期	1					
	2					
	3					

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
国語	国語演習	1	自然探究コース3年	必修

科目の目標	評論、小説の読解によって読解の技術および読解に必要な知識を身につけること。				
学習内容の概要	評論の読解ではその技術だけでなく重要テーマについての知識も同時に身につける。 小説の読解では文学研究の手法で本文理解だけにとどまらない鑑賞方法を学習する。 古典の演習では知識の習得だけでなく複数の資料やその関係性など教養も身につける。 毎授業冒頭には演習を実施する。				
評価の観点	関心・意欲・態度 各言語活動に積極的に参加しているか。	話す・聞く能力 目的や場に応じて的確に聞き取り、自分の意見をまとめ深めることができるか。	書く能力 必要な情報を用い目的に応じた文章を書き、自分の考えを深めることができるか。	読む能力 近代以降の文章を的確に読み取り、目的に応じて幅広く読み取ることができるか。	知識・理解・技能 読解に必要な知識を習得することができるか。
評価の方法	単元テスト・提出物・授業態度を総合的に判断して評価する。				
教科書・教材等	特になし				
授業形態	一斉				

年間学習計画						
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1学期	4	ガイダンス		1		
				2		
	5			3		
	6			4		
	7			2		
2学期	8	演習問題	一般入試および記述対策 評論・小説を中心に毎時間1問づつ対策する	2		
	9			3		
	10			4		
	11			4		
	12			3		
3学期	1					
	2					
	3					

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
地理・歴史	世界史研究	4	高校3年	必修
科目の目標	近現代史を中心に各国の歴史を学ぶとともに、各国の歴史の裏にある国際関係を読み取る。			
学習内容の概要	帝国主義以降の通史を政治・経済・文化・芸術のあらゆる方面から学んでいく。特に各時代の主要な判断がどのような結果を生み出したかを考え、現在の国際関係や今後の世界と関連づけて学んでいく。			
評価の観点	知識・理解	資料活用	思考・判断・表現	関心・意欲
	用語を適切に理解しているか。定期考査にて評価する。	資料を適切に読み解き、考察しているか。レポート・口頭試問等で評価する。	特定の歴史的事象に関し深く探究し自分の考えを加え表現しているか。成果物で評価する。	授業に対し主体的に取り組んでいるか。授業への主体的な取り組み、課題・レポート提出等を総合的に鑑み評価する。
評価の方法	テスト点 60% 平常点 40%			
教科書・教材等	詳説世界史B(山川)、タペストリー(帝国書院)、必修整理ノート(文英堂)、世界史10分間テスト(山川)			
授業形態	一斉			

年間学習計画						
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4	帝国主義と アジアの民族運動	帝国主義と列強の展開	8	○	72526
			世界分割と列強対立	8		
			アジア諸国の改革と民族運動	8		
	5	二つの世界大戦	第一次世界大戦とロシア革命	8		
			ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	8		
			アジア・アフリカ地域の民族運動	8		
			世界恐慌とファシズムの侵略	8		
	7	夏季休業	夏季休業			
8						
2	8	WWⅡ/冷戦/現代の世界	第二次世界大戦	8		
	9		冷戦・石油危機・現代の諸課題	8		
	10	個別最適学習	面談を通して個々に目標設定を行い、必要な事項を調べ、考え、表現する時間とする。自らの進路に関連することや社会課題などのあらゆる事象を3年間学んできた、歴史学・政治学・経済学・地理学・社会学といった多角的な視点から考察し、自らの考えを深め構築する。	8		
	11			16		
	12			16		
	3			1		
2						
3						

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
地理・歴史	世界史演習 二次・私大	2	高校3年	選択
科目の目標	①共通テスト形式の演習を通して、出題傾向・意図・特徴を理解する。 ②各大学の過去問演習を通し、出題傾向・意図・特徴を理解する。			
学習内容の概要	共通テスト・各大学の過去問演習を通して、出題傾向・意図・特徴を理解する。予習として問題に取り組み、授業時は解説・グループワークにて学びを深める。前期は通史を扱い、後期はテーマ史を扱う。			
評価の観点	知識・理解	資料活用	思考・判断・表現	関心・意欲
	用語を適切に理解しているか。定期考査にて評価する。	資料を適切に読み解き、考察しているか。レポート・口頭試問等で評価する。	特定の歴史的事象に関し深く探究し自分の考えを加え表現しているか。成果物で評価する。	授業に対し主体的に取り組んでいるか。授業への主体的な取り組み、課題・レポート提出等を総合的に鑑み評価する。
評価の方法	テスト点 60% 平常点 40%			
教科書・教材等	チェック&演習(数研出版)			
授業形態	一斉			

年間学習計画								
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ		
1	4	古代オリエント	第1章	8	○	7	25	26
		ギリシア・ローマ						
	5	古代インド・東南アジア	第2章	8				
		内陸アジア・東アジアの形成	第3章					
	6	イスラム・ヨーロッパ世界の形成	第4章・第5章	8				
		内陸アジア・東アジアの展開	第6章					
	7	アジアの繁栄・近世ヨーロッパ	第7章・第8章	4				
		夏季休業	第1～8章　まとめ					
2	8	近世ヨーロッパの展開	第9章	4				
	9	近代ヨーロッパとアメリカ世界	第10章	8				
		近代国家の発展・アジアの動揺	第11章・第12章					
	10	帝国主義と民族運動	第13章	8				
		世界大戦・戦後史・現代史	第14章・15章					
	11	個別最適学習	面談を通して個々に目標設定を行い、必要な事項を調べ、考え、表現する時間とする。自らの進路に関連することや社会課題などのあらゆる事象を3年間学んできた、歴史学・政治学・経済学・地理学・社会学といった多角的な視点から考察し、自らの考えを深め構築する。	8				
	12			6				
3				1	4			
	2	4						
	3							

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
地理・歴史	地理研究	2	高校3年	選択

科目の目標	地理的な見方や考え方を培い、国際社会の中で主体的に生きるための自覚と資質を養う。			
学習内容の概要	現代世界の諸地域を、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。 単元ごとに大学入試共通試験形式の問題演習を通して、各自の理解不足点を発見し修正する。			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
	作業的、体験的学習を通して地理的事象を考察するための技能を身に付ける。	現代世界の地理的事象を系統的に考察し、諸課題にて地球的視野から理解できる。	さまざまな地図の活用、統計・画像・文献などの地理情報の収集・選択・処理を通して空間的に広がる諸事象の規則性や傾向性を考察する。	世界の諸地域の特色や課題を多角的・多面的に考察できる。
評価の方法	単元末テスト		60%	成果物・提出物・各活動における意欲と態度 40%
教科書・教材等	新詳地理B(帝国書院)、新詳高等地図(帝国書院)、地理統計要覧2020(二宮書店)			
授業形態	一斉			

年間学習計画								
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ		
1	4	地図,自然環境	基本事項の確認 マーク形式問題演習	16				
	5							
	6	自然,産業,人口	基本事項の確認 マーク形式問題演習	24				
	7							
8	民族・宗教,現代世界						基本事項の確認 マーク形式問題演習	16
9								
10								
11								
2	12	総合問題演習	総合問題演習	16				
	1							
2								
3								

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
公民	現代社会研究	2	高校3年	選択
科目の目標	現代社会の仕組みや成り立ちを理解するとともに、あらゆる方面・立場を考慮した上で現代の諸課題に対し、自らの考えを表現できるようになる。			
学習内容の概要	政治・経済分野、国際社会分野、倫理・哲学分野の三つの観点から社会の成り立ちを考え、演習を通じて基礎的な公民的資質を高めていく。			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	社会的事象に対する関心を高め、意欲的に追求しながら、社会の一員としての自覚と責任を考えることができる	社会的事象から課題を見出し、意義や特色、相互の関連を多角的に考察し、社会の変化をふまえて公正に判断する事ができる。	平素から各種の資料に親しみ、情報を適切に選択して活用し、追求した過程や結果を適切に表現できる。	社会的事象の意義や特色を理解し、知識を身につけ、社会生活の中で有用に活用できる能力が育っている。
評価の方法	単元テスト 60% 学習への取組 40%			
教科書・教材等	チェック&演習 倫政/現社(数研出版)			
授業形態	一斉			

年間学習計画							
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ	
1	4	私たちの生きる社会、 青年期と自己形成	生命・情報・環境・エネルギーをめぐる問題 青年としてのあり方・生き方、先人の生き方・考え方	6			
	5	個人の尊重と法の支配	民主政治の基本原則、日本国憲法と基本的人権	8			
	6	現代の民主政治と政治 参加の意義	日本の政治機構	8			
	7	現代の経済社会と 経済活動のあり方	現代の経済社会と経済活動 市場機構と政府の役割	8			
2	8	夏季休業					
	9	国際政治の動向と 日本の果たすべき役割	国際政治の動向 国際政治の課題と日本	8			
	10			8			
	11			8			
	12	個別最適学習	面談を通して個々に目標設定を行い、必要な事項を調べ、考え、表現する時間とする。自らの進路に関連することや社会課題などのあらゆる事象を3年間学んできた、歴史学・政治学・経済学・地理学・社会学といった多角的な視点から考察し、自らの考えを深め構築する。	6			
3	1			6			
	2			4			
	3						

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
数学	数学Ⅲ	5	自然探究コース3年	選択
科目の目標	微分法、積分法、式と曲線などの考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。			
学習内容の概要	各単元において、考えについて理解するとともに、事象の考察に活用できるようにする。			
評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	各単元における考え方や体系に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的な考えに基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、多面的・発展的に考えたりすることを通して、各単元における数学的な見方や考え方を身に付ける。	各単元において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	各単元における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	テスト 60%	数学的活動 30%	態度 (自己評価 含) 10%	
教科書・教材等	数学Ⅲ(数研出版)			
授業形態	一斉			

年間学習計画						
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4	関数		11		
		極限		22		
	5	微分法・微分法の応用		22		
	6					
	7	積分法・積分法の応用		33		
2	8	総合演習		80		
	9					
	10					
	11					
	12					
3	1					
	2					
	3					

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
数学	数学演習Ⅰ・Ⅱ	4,6	人間探究コース3年 自然探究コース3年	選択必修
科目の目標	生徒一人一人が進路実現に必要なことを、数学的思考を用いて進めていく。			
学習内容の概要	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」での学習を基に、総合的な数学的な見方や考え方をさらに深めるとともに、それらを事象の考察に活用する。			
評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	各単元における考え方や体系に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数	事象を数学的に考察し表現したり、多面的・発展的に考えたりすることを通して、各単元における数学的な見方や考え方を身に付ける。	各単元において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	各単元における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	課題 60% 授業態度等 40%			
教科書・教材等	・数研出版 数学Ⅰ・A＋Ⅱ・B上級演習PLAN100 ・オリジナルテキスト			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1学期	4	数と式, 集合と命題	因数分解, 1次不等式, 集合と命題	6					
		2次関数	2次関数の最大・最小, 2次不等式	6					
	5	図形と計量	正弦定理, 余弦定理, 円に内接する四角形	4					
		データの分析	代表値, 分散・標準偏差, 散布図, 箱ひげ図	4					
	6	場合の数と確率	順列, 円順列, 重複順列, 確率, 乗法定理	6					
		図形の性質	チェバ・メネラウスの定理, 方べきの定理	6					
	7	整数の性質	1次不定方程式, n進法, ユークリッドの互除法	6					
		式と証明, 複素数と方程式	相加平均と相乗平均, 複素数, 因数定理	6					
2学期	8	図形と方程式	点と直線の距離, 円の方程式, 円の接線, 領域	6					
	9	三角関数	弧度法, 三角関数の合成, 三角関数のグラフ	6					
		指数関数・対数関数	指数方程式, 対数方程式, 対数不等式	6					
	10	微分法・積分法	平均変化率, 極限, 接線, 定積分, 法線, 面積	6					
		ベクトル	位置ベクトル, 内積, ベクトルの分解	6					
	11	数列	等差数列, 等比数列, 階差数列, 群数列, 漸化式	7					
		確率分布と統計的な推測	期待値, 正規分布, 標本平均, 信頼区間, 二項分布	7					
	12	総合演習		68					
1									
2									
3学期	3								

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
理科	物理	2	高校3年	選択
科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。			
学習内容の概要	「電気と磁気」「原子」についての理解を深めるとともに、これらの物理現象を通じてその奥に潜んでいる物理法則について深く考察する。			
評価の観点	関心・意欲・態度	判断・思考	実験・観察の技能・表現	知識・理解
	物理学と日常生活との関連についての重要性に気付かせ、身近な物理現象やエネルギーへの関心を高める。	物理がかかわる問題に直面したときに、自分の力で解決する方法を見いだす能力と態度を育てる。	様々な探究の過程を通して科学の方法を習得させ、物理学的に探究する能力と態度を育てる。	探究活動などの実践を通して知識を活用する習慣を身につける。
評価の方法	単元テスト	30%	レポート	30%
			成果物	20%
			授業態度	20%
教科書・教材等	啓林館『総合物理1』『総合物理2』, 啓林館『センサー総合物理』			
授業形態	一斉			

年間学習計画								
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ		
1	4	電気と磁気	電流と磁界	34				
	5		電磁誘導と電磁波	27				
	6							
	7	原子・分子の世界	光子と光	9				
2	8		原子・原子核・素粒子	8				
	9	—	—	—				
	10							
	11							
	12							
3	1							
	2							
	3							

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
理科	物理研究	3	高校3年	選択
科目の目標	物理学の概念や原理・法則を理解するとともに、科学的思考力や主体的に自然を探究する能力と態度を高め、目的意識をもって科学的に分析・解決する能力を養う。			
学習内容の概要	「物理」での学習をもとに「運動」「波動」「電気と磁気」「原子」分野についての理解を深めるとともに、実践考察や計算演習を行う。			
評価の観点	関心・意欲・態度	判断・思考	実験・観察の技能・表現	知識・理解
	物理学と日常生活との関連についての重要性に気付かせ、身近な物理現象やエネルギーへの関心を高める。	物理がかかわる問題に直面したときに、自分の力で解決する方法を見いだす能力と態度を育てる。	様々な探究の過程を通して科学の方法を習得させ、物理学的に探究する能力と態度を育てる。	探究活動などの実践を通して知識を活用する習慣を身につける。
評価の方法	単元テスト	30%	レポート	30%
			成果物	20%
			授業態度	20%
教科書・教材等	啓林館『総合物理1』『総合物理2』, 啓林館『センサー総合物理』			
授業形態	一斉			

年間学習計画										
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ				
1	4	運動	物体の運動, 力のつり合い, 運動の法則, 等速円運動, 万有引力	18						
	5									
	6	波動	反射・屈折, 干渉・回折, 音波, ドップラー効果, 光	18						
	7	電気と磁気	電界と電位, 電流と磁界, 電磁誘導と電磁波	12						
2	8	原子	原子と光, 原子・原子核・素粒子	24						
	9									
	10									
	11	総合問題演習	マーク・記述形式問題演習	45						
	12									
3	1	—	—	—						
	2									
	3									

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
理科	化学基礎研究	2	高校3年	必修

科目の目標	化学の基本的な概念や原理・法則を系統的に理解し、活用する力を伸ばすこと。			
学習内容の概要	「化学基礎」での学習を基に、次の①～②についての理解をさらに深めるとともに、実験考察や計算演習などを行う。 ① 物質の構成 ② 物質の変化			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	観察・実験の技能・表現	知識・理解
	化学の事物・現象に関心・探究心をもち、意欲的に解決する態度を身につける。	化学的な事物・現象に課題を見だし、事象を科学的に考え、判断できる。	化学の事物・現象を科学的に探究する方法を身につけ、過程や結果を的確に表現できる。	化学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、活用する力を身につける。
評価の方法	テスト点	30%	レポート	30%
			成果物	20%
			授業態度	20%
教科書・教材等	数研出版『化学基礎』， 浜島書店『つかむ化学基礎』			
授業形態	一斉			

年間学習計画						
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4	物質の構成 物質の変化	「化学基礎」各編の問題演習および実験演習 物質の構成 物質の構成粒子 粒子の結合 物質の変化 物質量と化学変化 酸と塩基の反応 酸化還元反応	32		
	5					
	6					
	7					
2	8	化学基礎全範囲	マーク形式問題演習	46		
	9					
	10					
	11					
	12					
3	1	—	—	—		
	2					
	3					

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
理科	化学演習	3	高校3年	必修

科目の目標	化学の基本的な概要や原理・原則を深く理解し、あらゆる場面に応じて活用する力を伸ばすこと。			
学習内容の概要	「化学」での学習を基に、次の①～⑦について理解をさらに深めるとともに、実験考察や計算演習を行う。 ① 物質の状態 ② 物質の変化 ③ 無機物質 ④ 有機化合物 ⑤ 天然物化合物 ⑥ 高分子化合物			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	観察・実験の技能・表現	知識・理解
	化学の事物・現象に関心・探究心を持ち、意欲的に解決する態度を身につけようとする。	化学的な事物・現象に問題を見だし、事象を科学的に考え、判断できる。	化学の事象・現象を科学的に探究する方法を身につけ、過程や結果を的確に表現できる。	化学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、身につけている。
評価の方法	単元テスト	30%	レポート	30%
			成果物	20%
			授業態度	20%
教科書・教材等	数研出版 化学			
授業形態	一斉			

年間学習計画						
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4	物質の状態	粒子の結合と結晶の構造 物質の三態と状態変化 気体 溶液	16		
	5					
	6	物質の変化	化学反応とエネルギー 電池と電気分解 化学反応の速さと仕組み 化学平衡	16		
	7					
2	8	無機物質	非金属元素 金属元素(Ⅰ) 金属元素(Ⅱ)	19		
	9					
	10	有機化合物	有機化合物の分類と分析 脂肪族炭化水素 アルコールと関連物質 芳香族化合物	12		
	11	天然物化合物	天然有機化合物 天然高分子化合物	6		
		合成高分子化合物	高分子化合物の性質 合成高分子化合物	6		
	12	化学全範囲				
3	1		記述形式問題演習	24		
	2					
	3	—	—	—		

教科名		科目名	単位数	対象学年	履修形態					
保健体育		体育	3	高校3年	必修					
科目の目標		①各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付ける。 ②運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ③生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。								
学習内容の概要		単元ごとの目標を明確にし、必要に応じて情報提供をおこなったり、自らインターネットや本で情報を集めたりするなど、健康に対する意識を高められるような授業展開をする。内容は、運動に関する領域及び知識に関する領域で構成されている。運動に関する領域は、「体づくり運動」、「器械運動」、「陸上競技」、「球技」、「武道」及び「ダンス」であり、知識に関する領域は、「体育理論」である。								
評価の観点		学びに向かう力・人間性	思考・判断・表現	技能	知識					
		自ら進んで運動の楽しさや喜びを体得しようとする。 公正・協力・責任・参画などの社会的態度が身に付いているか。	自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己(や仲間)の考えたことを他者に伝えることができる。	自己の能力に適した課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の特性に応じた技能を身に付けている。	運動の特性と学び方、安全の確保の仕方、運動の心身にわたる効果に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。					
評価の方法		30%	10%	40%	20%					
教科書・教材等		Active Sports 2019(総合版) 大修館書店								
授業形態		2クラス合同、男女別								
年間学習計画										
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ				
1	4	体づくり運動	・集団・整列 ・体ほぐしの運動・体力を高める運動 ・体力テスト	6						
		体育理論 球技(ハンドボール)	・パス、シュート、ドリブル等の基礎練習 ・ゲームのルールを理解する。 ・ゲーム	12						
	5	球技(サッカー)	・パス、シュート、ドリブル等の基礎的なことからゲーム展開	12						
	6	球技(バレーボール)	・対人パス、サーブ ・ゲームのルールを理解する。 ・ゲーム	12						
	7									
8										
2	9	球技(ソフトボール)	・打撃、捕球、送球などの用具操作 ・走者と連携した打撃による攻撃とその守備の理解 ・ゲーム	12						
	10	球技(バスケットボール) 体育理論	・パス、シュート、ドリブル等の基礎的なことからゲーム展開	12						
	11	球技(バドミントン) 体育理論	・ラケットの持ち方の確認、各ショットの練習 ・ゲーム	10						
	12	選択・球技 卓球・バレーボール	(卓球) ・ラケットの持ち方の確認、各ショットの練習 ・ゲーム	10						
3	1									
	2									
	3									

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
外国語	英語演習	6	高校3年	必修

科目の目標	① 筆者・出題者と共感できる力を習得する(読解・リスニング)。出題者の意図を理解できる。 ② 単語・イディオム・文法・構文に気づき、正しく理解できる(読解・リスニング)。 ③ 英作文を書く際の基本事項を理解し、より英語らしい文章を書くことができる(ライティング)。			
学習内容の概要	・Listening教材を通して単語・文法・構文に気づき、耳情報を目からの情報を一致させる訓練をする。 ・共通テストの予想問題を通して、英文の基礎基本を再確認すると同時に特有の思考法に慣れる。 ・大学入試問題に挑戦することを通して、個別学習の訓練をする。 ・年間を通じてライティングの訓練をしつつ文法事項の確認をする。			
評価の観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力 (話すこと・読むこと・書くこと)	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
	筆者や出題者とのコミュニケーションに関心を持ち、積極的な態度で聞くこと、読むこと、書くことの言語活動に参加しているか。	英語特有の表現を読んだり聴いたりしながら、正確に速く理解できているか。	語彙や文法を暗記するだけでなく、背後にある考え方を理解しながら、学びを深めているかどうか。	様々な話題についての学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解しているか。
評価の方法	授業態度 40%		単元末テスト 60%	
教科書・教材等	・Try30 共通テスト英語 リスニングオリジナル問題集 ・共通テスト英語ブレノート		・Tackle40 共通テスト英語 筆記オリジナル問題集 ・入試必携英作文	
授業形態	習熟度別			

年間学習計画						
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4	・Listening: 第1回～第5回 ・Reading : 第1回～第6回 ・Writing : New Frame650 英作文1～10	ガイダンス	1		
	5		Listening2コマ・Reading2コマ・Writing2コマ 3技能とも、1学期は単語・イディオム・文法・文構造・解法など丁寧に確認して、2学期の個別最適化学習のやり方を学ぶ。	76		
	6					
	7					
2	8	・Listening: 第6回～第8回 ・Reading : 第7回～第10回 ・Writing: 英作文11～18 ・国公・私立大学過去問 ・共通テスト予想問題	1学期習得した技術を使って、自己調整型学習を実践する。共通した問題を解くだけでなく各自の志望大学等に最適な教材で自学する。疑問点や不明点は教員とディスカッションしながら、一人で正確に速く解答できる技術を獲得する。	100		
	9					
	10					
	11					
	12					
3	1	共通テスト対策・大学別対応	共通テストの予想問題＋志望大学過去問解説	40		
	2	大学別対応	志望大学過去問解説			
	3	大学別対応	志望大学過去問解説			

